

第2部 2 実践研究

『論理・表現』でICTを活用して 書く意欲を高めるには

工藤 洋路（玉川大学）

津久井 貴之（群馬大学／大妻中学高等学校）

長沼 君主（東海大学）

◎本日の投影資料は12月下旬にARCLEホームページ (<https://www.arcle.jp/>) にアップいたします。

◎参加者の皆様による録音や録画、画面撮影はご遠慮ください。

<発表内容>

- 【1】 実践研究の目的と概要および全体像（工藤）
- 【2】 実践前の生徒の実態の報告とディスカッション（全員）
- 【3】 授業実践の報告（津久井）
- 【4】 ICTの活用の有無による学習の違いや質問紙調査の結果の考察とディスカッション（全員）
- 【5】 実践の振り返りと今後の実践（津久井）
- 【6】 実践研究のまとめ（長沼）

【1-1】実践研究の目的と概要および全体像

■ 目的

英語で書くことに不安や抵抗感があると思われる高校生が、英語で書く意欲を向上させるために、学習や指導において、どのようにICTを活用するとよいかを探る

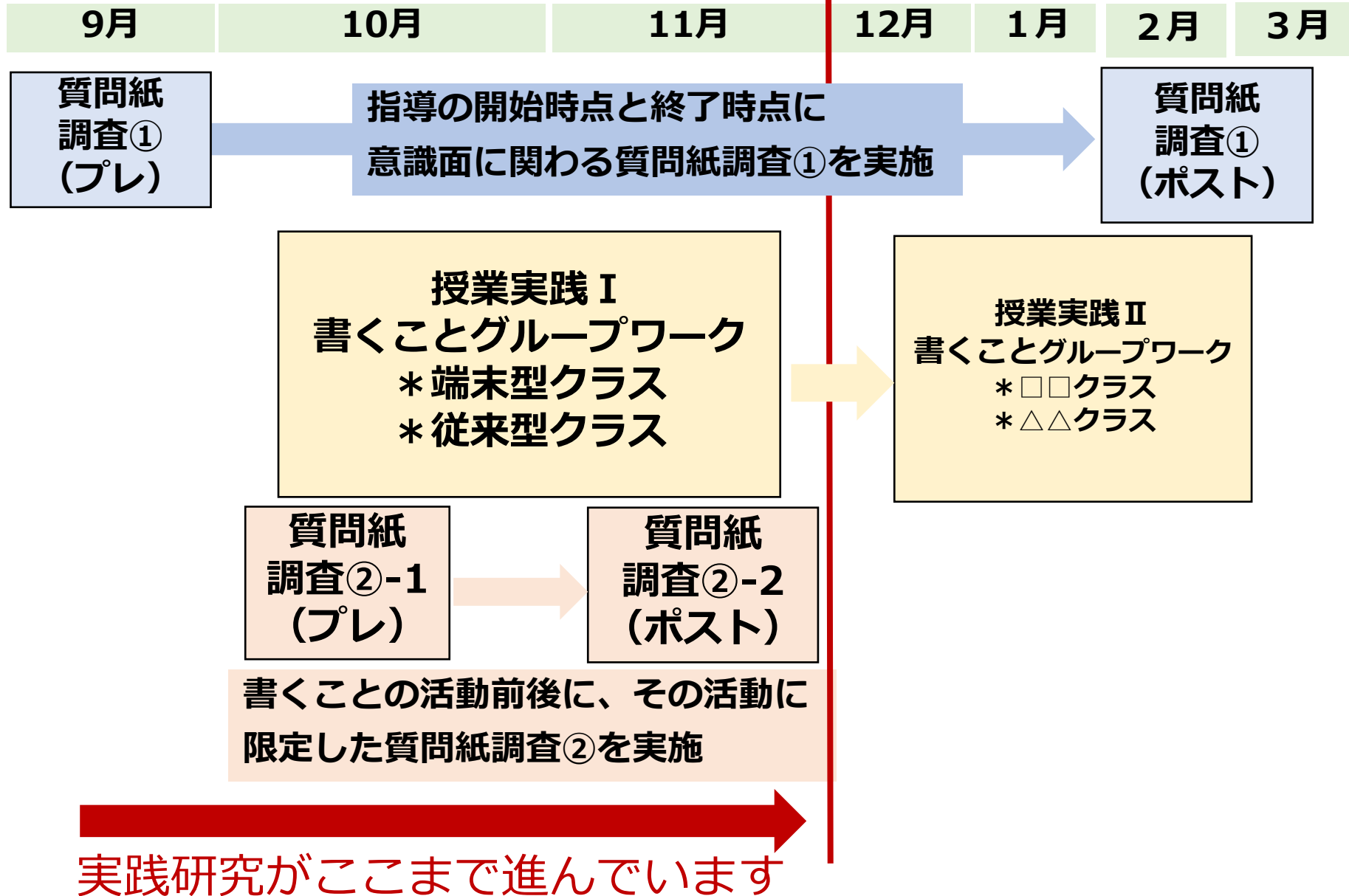
■ 実践者の関心

ICTを効果的に活用して、生徒の英語で書くことへの抵抗感を下げ、書く意欲を高めたい

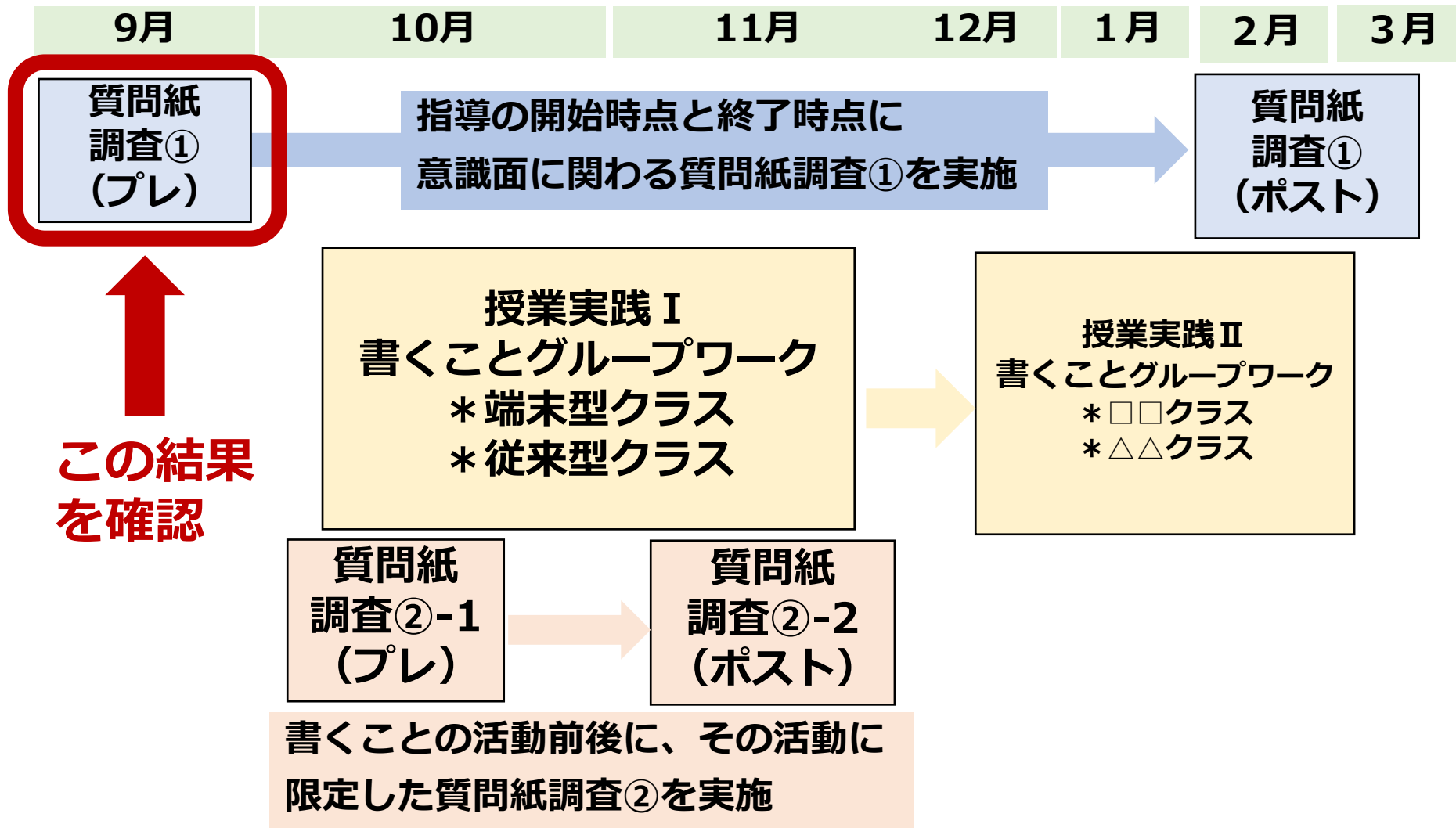
■ 研究課題

- ①ICT活用の有無や活用方法の違いによって、生徒の書く学習への取り組み方は変わるか
- ②生徒の学習への取り組み方の違いによって、書くことへの意識に違いが生じるか

【1-2】研究の全体像



【2】実践前の生徒の実態の報告とディスカッション



	開始時の74名 (2クラス)	項目	意識・意欲・信念 など	平均 値	4 とても そう 思う	3 まあ そう 思う	2 あまり そう 思わない	1 全く そう 思わない
1		英語の文を正確に書くのが難しい。		3.36	50.0%	36.5%	13.5%	0.0%
2		ある程度の分量が求められる文章（パラグラフ）を英語で書くのが難しい。		3.16	33.8%	50.0%	14.9%	1.4%
3		自分の意見や考えなどを英語で書くことに抵抗感がある。		2.41	16.2%	28.4%	35.1%	20.3%
4		自分の気持ちや考えなどを英語で書くのが楽しい。		2.82	20.3%	43.2%	35.1%	1.4%
5		「論理表現Ⅰ」の授業でもっと英語で書く「練習」（例：例文を写す、問題を解く等）をしてみたい。		3.04	31.1%	41.9%	27.0%	0.0%
6		「論理表現Ⅰ」の授業でもっと英語で書く「活動」（例：自分の意見や考えなどを書く等）をしてみたい。		3.23	40.5%	41.9%	17.6%	0.0%
7		英語で書けるようになるために、まずは単語や文法を学習することが大切だと思う。		3.74	77.0%	21.6%	0.0%	1.4%
8		単語や文法を覚えるには、書く「練習」（例：例文写し、問題演習等）をするのが大切だと思う。		3.26	40.5%	44.6%	14.9%	0.0%
9		単語や文法を覚えるには、書く「活動」（例：自分の意見や考えを書く等）をするのが大切だと思う。		3.38	50.0%	37.8%	12.2%	0.0%
10		英語を勉強する上で、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは大切だと思う。		3.61	63.5%	33.8%	2.7%	0.0%
11		将来、英語が使えるようになるために、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは大切だと思う。		3.72	73.0%	25.7%	1.4%	0.0%
12		大学入試の英語の試験で良い点数をとるために、自分の意見や考えなどを英語でたくさん書くことは大切だと思う。		3.72	73.0%	25.7%	1.4%	0.0%
13		先生や友だちに英語で自分が書いたものを読んでもらいたいと思う。		2.64	20.3%	29.7%	43.2%	6.8%
14		先生や友だちに自分が書いたものに対してコメントをもらうのは嬉しい。		3.05	32.4%	41.9%	24.3%	1.4%
15		海外の友人など、英語で書いてやり取りする相手がほしい（既にいる人はもっとほしい）。		3.11	40.5%	35.1%	18.9%	5.4%
16		友だちが書いたものを読んだとき、表現や書き方などを真似してみたいと思う。		3.34	44.6%	47.3%	5.4%	2.7%
17		友だちが書いたものを読むことは楽しい。		3.20	37.8%	47.3%	12.2%	2.7%

	開始時の74名 (2クラス)	項目	ICTの活用	平均値	4 とても そう 思う	3 まあ そう 思う	2 あまり そう 思わない	1 全く そう 思わない
18		授業外でメールやSNSなどで英語でやり取りする機会がある.		1.51	2.7%	10.8%	21.6%	64.9%
19		授業内外を問わず、英語で書くとき、正しい文を書こうと意識する.		3.28	43.2%	44.6%	9.5%	2.7%
20		授業内外を問わず、英語で書くとき、相手に伝わるかどうかを意識する.		3.34	47.3%	40.5%	10.8%	1.4%
21		授業内外を問わず、英語で書くとき、何を書いてよいか分からなくなる.		3.11	39.2%	40.5%	12.2%	8.1%
22		授業内外を問わず、英語で書くとき、どんな評価(点数やコメント等)がもらえるか気になる.		3.47	54.1%	39.2%	6.8%	0.0%
23		授業内外を問わず、これまで自分が書いた英文の表現や書き方をふり返って読み直すことがある.		2.68	18.9%	35.1%	40.5%	5.4%
24		英語で書くとき、辞書(紙や電子辞書、オンライン辞書アプリ)を使うことがある.		3.65	71.6%	21.6%	6.8%	0.0%
25		英語で書くとき、機械翻訳を使うことがある.		2.99	23.0%	55.4%	18.9%	2.7%
26		機械翻訳やスペルチェック機能を使えば正しい英文を書くことができると思う.		2.70	17.6%	40.5%	36.5%	5.4%
27		機械翻訳やスペルチェック機能を使うことに罪悪感がある.		3.20	44.6%	35.1%	16.2%	4.1%
28		手書きよりもタイピングやフリック入力の方が英語で書きやすい.		2.03	10.8%	17.6%	35.1%	36.5%
29		授業や課題でパソコンやタブレットを使って、英語で意見や考えなどを伝え合う活動は楽しい.		2.96	27.0%	47.3%	20.3%	5.4%
30		パソコンやタブレットを、授業以外で英語の勉強や英語の映像の視聴に使うことがある.		2.78	23.0%	43.2%	23.0%	10.8%
31		Classroom上のコメントを参考にし、授業の予習や復習として英文を書いたり書き直したりすることがある.		2.70	23.0%	32.4%	36.5%	8.1%

	開始時の74名 (2クラス)	項目	自主学習・ 家庭学習	平均値	4 とても そう 思う	3 まあ そう 思う	2 あまり そう 思わない	1 全く そう 思わない
32		自主学習ノートに自由に英語で書く学習は楽しい。		2.99	28.4%	41.9%	29.7%	0.0%
33		「論理表現Ⅰ」に関して、宿題以外に、次の授業までに、予習をしたり復習をしたりすることがある。		2.43	13.5%	32.4%	37.8%	16.2%
34		「論理表現Ⅰ」に関して、宿題以外に、家庭学習で何を行ってよいか分からない。		2.93	33.8%	33.8%	24.3%	8.1%
35		家庭学習でもっと英語を書く活動をしてみたい。		3.28	43.2%	43.2%	12.2%	1.4%

実践者が注目した点

	項目	平均値	4 とても そう 思う	3 まあ そう 思う	2 あまり そう 思わ ない	1 全く そう 思わ ない
3	自分の意見や考えなどを英語で書くことに抵抗感がある.	2.41	16.2%	28.4%	35.1%	20.3%
13	先生や友だちに英語で自分が書いたものを読んでもらいたいと思う.	2.64	20.3%	29.7%	43.2%	6.8%
14	先生や友だちに自分が書いたものに対してコメントをもらうのは嬉しい.	3.05	32.4%	41.9%	24.3%	1.4%
16	友だちが書いたものを読んだとき、表現や書き方などを真似してみたいと思う.	3.34	44.6%	47.3%	5.4%	2.7%
17	友だちが書いたものを読むことは楽しい.	3.20	37.8%	47.3%	12.2%	2.7%

実践者が注目した点

半数近くの生徒が書くことに抵抗感がある

	平均値	4 とても そう 思う	3 まあ そう 思う	2 あまり そう 思わ ない	1 全く そう 思わ ない
3 自分の意見や考えなどを英語で書くことに抵抗感がある.	2.41	16.2%	28.4%	35.1%	20.3%
13 先生や友だちに英語で自分が書いたものを読んでもらいたいと思う.	2.64	20.3%	29.7%	43.2%	6.8%
14 先生や友だちに自分が書いたものに対してコメントをもらうのは嬉しい.	3.05	32.4%	41.9%	24.3%	1.4%
16 友だちが書いたものを読んだとき、表現や書き方などを直似してみたいと思う.	2.69	14.6%	47.3%	5.4%	2.7%

この差

⇒ 読んでもらいたいとは思わないが、コメントをもらうのは嬉しい生徒がいる(16/74)

(この16名は「3」の抵抗感の項目の平均値は2.69)

ICTの活用について

これまでのICT
活用状況は？

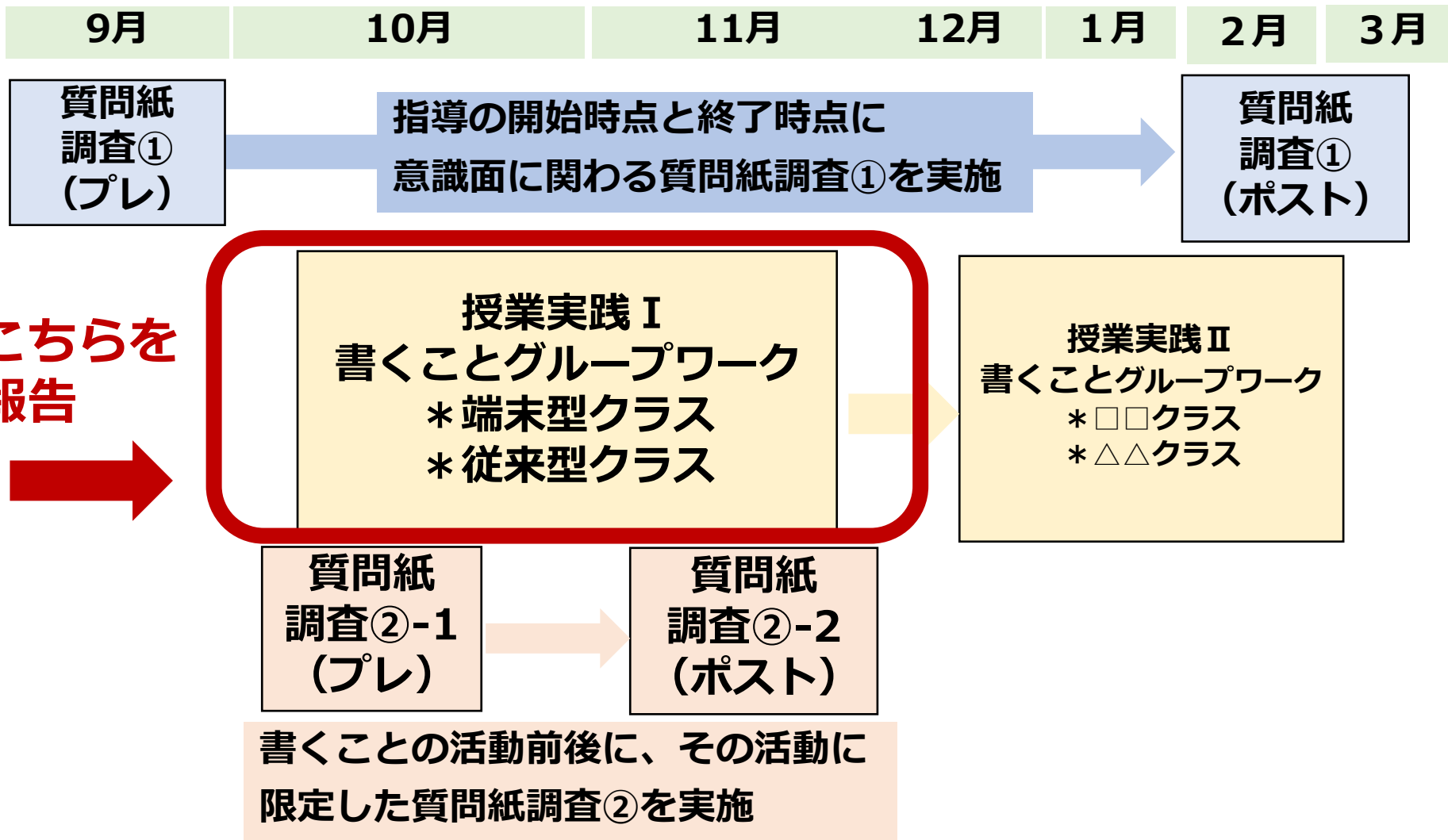
	項目	平均値	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう 思わない	全くそう 思わない
18	授業外でメールやSNSなどで英語でやり取りする機会がある。	1.51	2.7%	10.8%	21.6%	64.9%
19	授業内外を問わず、英語で書くとき、正しい文を書こうと意識する。	3.28	43.2%	44.6%	9.5%	2.7%
20	授業内外を問わず、英語で書くとき、相手に伝わるかどうかを意識する。	3.34	47.3%	40.5%	10.8%	1.4%
21	授業内外を問わず、英語で書くとき、何を書いてよいか分からなくなる。	3.11	39.2%	40.5%	12.2%	8.1%
22	授業内外を問わず、英語で書くとき、どんな評価（点数やコメント等）がもらえるか気になる。	3.47	54.1%	39.2%	6.8%	0.0%
23	授業内外を問わず、これまで自分が書いた英文の表現や書き方をふり返って読み直すことがある。	2.68	18.9%	35.1%	40.5%	5.4%
24	英語で書くとき、辞書（紙や電子辞書、オンライン辞書アプリ）を使うことがある。	3.65	71.6%	21.6%	6.8%	0.0%
25	英語で書くとき、機械翻訳を使うことがある。	2.99	23.0%	55.4%	18.9%	2.7%
26	機械翻訳やスペルチェック機能を使えば正しい英文を書くことができると思う。	2.70	17.6%	40.5%	36.5%	5.4%
27	機械翻訳やスペルチェック機能を使うことに罪悪感がある。	3.20	44.6%	35.1%	16.2%	4.1%
28	手書きよりもタイピングやフリック入力の方が英語で書きやすい。	2.03	10.8%	17.6%	35.1%	36.5%
29	授業や課題でパソコンやタブレットを使って、英語で意見や考えなどを伝え合う活動は楽しい。	2.96	27.0%	47.3%	20.3%	5.4%
30	パソコンやタブレットを、授業以外で英語の勉強や英語の映像の視聴に使うことがある。	2.78	23.0%	43.2%	23.0%	10.8%
31	Classroom上のコメントを参考にし、授業の予習や復習として英文を書いたり書き直したりすることがある。	2.70	23.0%	32.4%	36.5%	8.1%

ICTの活用について

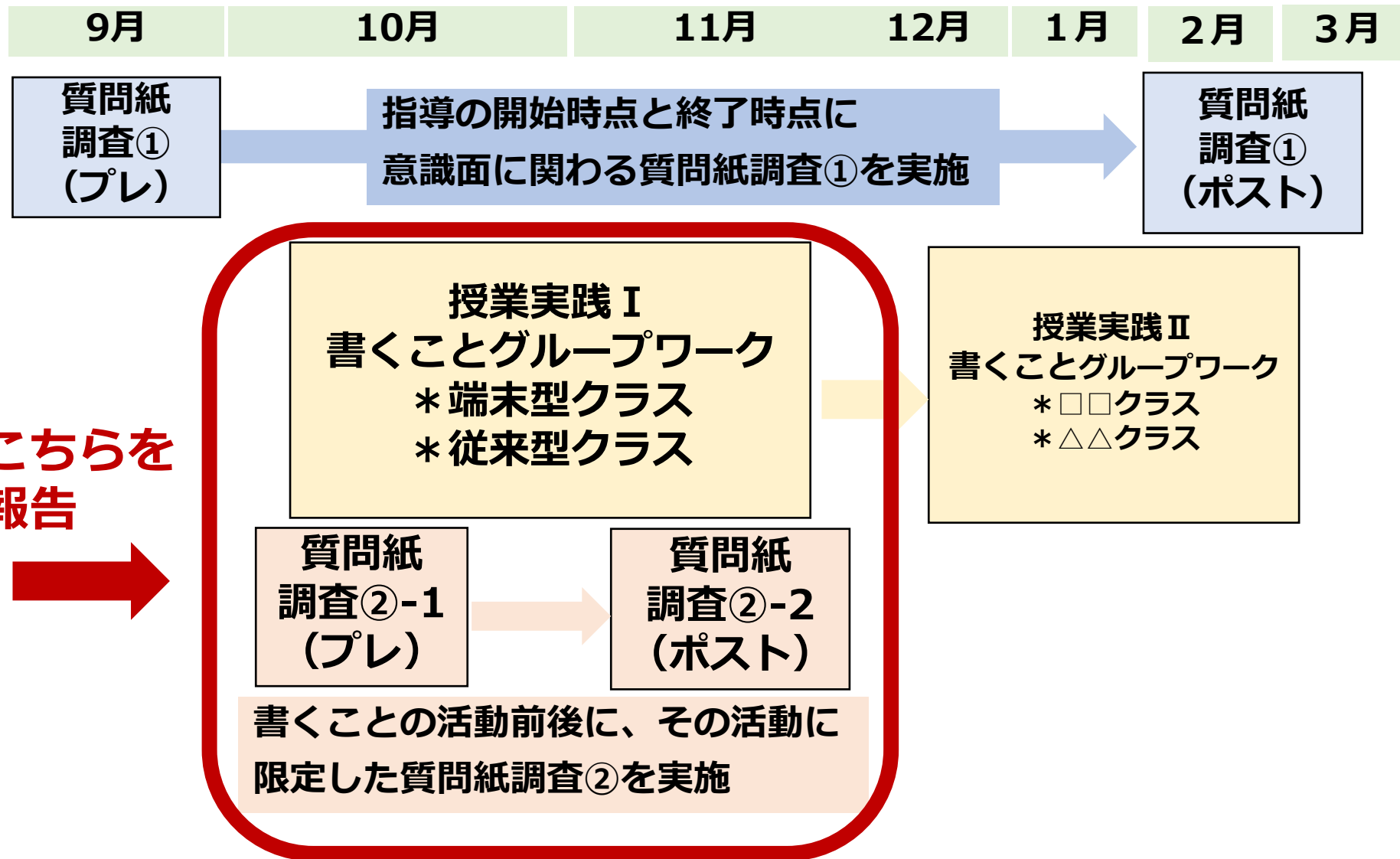
ICT関連の項目の結果、どう思いますか？

	項目	平均値	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう 思わない	全くそう 思わない
18	授業外でメールやSNSなどで英語でやり取りする機会がある。	1.51	2.7%	10.8%	21.6%	64.9%
19	授業内外を問わず、英語で書くとき、正しい文を書こうと意識する。	3.28	43.2%	44.6%	9.5%	2.7%
20	授業内外を問わず、英語で書くとき、相手に伝わるかどうかを意識する。	3.34	47.3%	40.5%	10.8%	1.4%
21	授業内外を問わず、英語で書くとき、何を書いてよいか分からなくなる。	3.11	39.2%	40.5%	12.2%	8.1%
22	授業内外を問わず、英語で書くとき、どんな評価（点数やコメント等）がもらえるか気になる。	3.47	54.1%	39.2%	6.8%	0.0%
23	授業内外を問わず、これまで自分が書いた英文の表現や書き方をふり返って読み直すことがある。	2.68	18.9%	35.1%	40.5%	5.4%
24	英語で書くとき、辞書（紙や電子辞書、オンライン辞書アプリ）を使うことがある。	3.65	71.6%	21.6%	6.8%	0.0%
25	英語で書くとき、機械翻訳を使うことがある。	2.99	23.0%	55.4%	18.9%	2.7%
26	機械翻訳やスペルチェック機能を使えば正しい英文を書くことができると思う。	2.70	17.6%	40.5%	36.5%	5.4%
27	機械翻訳やスペルチェック機能を使うことに罪悪感がある。	3.20	44.6%	35.1%	16.2%	4.1%
28	手書きよりもタイピングやフリック入力の方が英語で書きやすい。	2.03	10.8%	17.6%	35.1%	36.5%
29	授業や課題でパソコンやタブレットを使って、英語で意見や考えなどを伝え合う活動は楽しい。	2.96	27.0%	47.3%	20.3%	5.4%
30	パソコンやタブレットを、授業以外で英語の勉強や英語の映像の視聴に使うことがある。	2.78	23.0%	43.2%	23.0%	10.8%
31	Classroom上のコメントを参考にし、授業の予習や復習として英文を書いたり書き直したりすることがある。	2.70	23.0%	32.4%	36.5%	8.1%

【3】授業実践の報告（津久井）



【4】ICTの活用の有無による学習の違いや質問紙調査の結果の考察とディスカッション



質問紙調査②-1 (プレ)

⇒ 今回の活動の実施前（最初の授業で活動内容を提示した際）に行った質問紙調査

4 とてもあてはまる / 3 まああてはまる / 2 あまりあてはまらない / 1 全くあてはまらない

項目	従来型 クラス 平均値	端末型 クラス 平均値	差
自分の意見や考えなどを英語で書くことに今は抵抗感がある。	2.2	2.2	0.0
グループの友だちからコメントやアイデアをもらったりすることで、英語で書くことの抵抗感が少なくなると思う。	3.2	3.1	-0.1
先生からコメントやアイデアをもらったりすることで、英語で書くことの抵抗感が少なくなると思う。	3.2	3.0	-0.2
英語で自分が書いたものを友だちに読んでもらいたいと今は思う。	2.5	2.5	0.0
英語で自分が書いたものを先生に読んでもらいたいと今は思う。	3.2	2.8	-0.4

質問紙調査①× 質問紙調査②-1 (プレ)

⇒ generalな意識とtask-specificな意識の関係は？

4 とてもあてはまる / 3 まああてはまる / 2 あまりあてはまらない / 1 全くあてはまらない

		【活動実施前】 自分の意見や考えなどを英語で書くことに今は抵抗感がある。					
		1	2	3	4	計	
【全般】 自分の意見や考えなどを英語で書くことに抵抗感がある。	1	9	4	1	1	15	
	2	6	9	9		24	
	3	1	9	8	1	19	
	4	2	1	4	1	8	
	計	18	23	22	3	66	

【全般】抵抗感	【活動実施前】抵抗感	人数	タイプ
ない	ない	28	いつも大丈夫！
ない	ある	11	今回のタスクは難しい？ 意欲がわかない？
ある	ない	13	今回のタスクは簡単？ 意欲がわく？
ある	ある	14	いつも抵抗感がある…

質問紙調査②-2 (ポスト)

4 とてもあてはまる / 3 まああてはまる
2 あまりあてはまらない / 1 全くあてはまらない

⇒ 今回の活動の実施後（修正した作文を提出した後）に行った質問紙調査

	従来型 クラス 平均値	端末型 クラス 平均値
このライティング (fair trade) を終えてみて、自分の意見や考えなどを英語で書くことに抵抗感はなかった。	3.2	3.3
グループの友だちからコメントやアイデアをもらったりしたので、英語で書くことの抵抗感が少なくなった。	3.2	3.1
先生からコメントやアイデアをもらったりすることで、英語で書くことの抵抗感が少なくなった。	3.2	3.2
英語で自分が書いたものを友だちに読んでもらってよかったと思う。	3.4	3.2
英語で自分が書いたものを先生に読んでもらってよかったと思う。	3.5	3.5

活動後、クラス間にほとんど差はなく、
両クラスとも、ポジティブな回答

質問紙調査②-2 (ポスト)

4 とてもあてはまる / 3 まああてはまる
2 あまりあてはまらない / 1 全くあてはまらない

⇒ 今回の活動の実施後（修正した作文を提出した後）に行った質問紙調査

	従来型クラス (33名)	端末型クラス (33名)			
	平均値	「とても あてはまる」 の回答者数	平均値		
ワークシートで質問に答えたり アイデアを出したりしたこと によって、最後の作文が よく書けたと思う。	3.3	15	21	3.6	Jamboardやドキュメント を使って活動したこと によって、最後の作文が よく書けたと思う。
最後の作文を書くときに、 ワークシートを見て、それ まで出したアイデアなどを 参考にした。	3.5	19	22	3.6	最後の作文を書くときに、 Jamboardで友だちと出し たアイデアなどを参考にし た。
ワークシートを使って友だち とアイデアを交換したり話し 合ったりしたことは楽しか った。	3.5	17	24	3.6	Jamboardやドキュメント を使って友だちとアイデア を交換したり話し合ったり したことは楽しかった。

端末型の方が、よりポジティブ

質問紙調査①× 質問紙調査②-1 (プレ) × 質問紙調査②-2 (ポスト)

書くこと全般への抵抗感	今回の活動前の抵抗感	クラス	人数	今回の活動後の振り返りでの抵抗感	人数	ワークシート or Jamboard等によって、よく書けたと思う (人数)
ない	ない	従来型	15	あった	0	-
				なかった	15	14
		端末型	13	あった	1	0
				なかった	12	12
ない	ある	従来型	2	あった	0	-
				なかった	2	2
		端末型	9	あった	1	1
				なかった	8	7
ある	ない	従来型	5	あった	1	1
				なかった	4	3
		端末型	8	あった	0	-
				なかった	8	8
ある	ある	従来型	11	あった	4	1
				なかった	7	7
		端末型	3	あった	2	1
				なかった	1	2

質問紙調査①× 質問紙調査②-1 (プレ) × 質問紙調査②-2 (ポスト)

書くこと全般への抵抗感	今回の活動前の抵抗感	クラス	人数	今回の活動後の振り返りでの抵抗感	人数	ワークシート or Jamboard等によって、よく書けたと思う (人数)
ない	ない	従来型	15	あった	0	-
				なかった	15	14
		端末型	13	あった	1	0
				なかった	12	12
ない	ある	従来型	2	あった	0	-
				なかった	2	2
		端末型	9	あった	1	1
				なかった	8	7
ある	ない	従来型	5	あった	1	1
				なかった	4	3
		端末型	8	あった	0	-
				なかった	8	8
ある	ある	従来型	11	あった	4	1
				なかった	7	7
		端末型	3	あった	2	1
				なかった	1	2

質問紙調査①× 質問紙調査②-1 (プレ) × 質問紙調査②-2 (ポスト)

書くこと全般への抵抗感	今回の活動前の抵抗感	クラス	人数	今回の活動後の振り返りでの抵抗感	人数	ワークシート or Jamboard等によって、よく書けたと思う (人数)
ない	ない	従来型	15	あった	0	-
				なかった	15	14
		端末型	13	あった	1	0
				なかった	12	12
ない	ある	従来型	2	あった	0	-
				なかった	2	2
		端末型	9	あった	1	1
				なかった	8	7
ある	ない	従来型	5	あった	1	1
				なかった	4	3
		端末型	8	あった	0	-
				なかった	8	8
ある	ある	従来型	11	あった	4	1
				なかった	7	7
		端末型	3	あった	2	1
				なかった	1	2

質問紙調査①×質問紙調査

質問紙調査②-2 (ポスト)

活動後に抵抗感が解消された生徒が多い

先生の教え方の上手さ、ツールの効果的活用、協働学習などが要因か

端末を使ったクラスだけがうまくいったわけではない

ない		従来型		あった		
		端末型	13	あった		
ない	ある	従来型	2	なかった	12	12
		端末型	9	あった	0	-
ある	ない	従来型	5	なかった	2	2
		端末型	8	あった	1	1
ある	ある	従来型	11	なかった	8	7
		端末型	3	あった	1	1
				なかった		
				あった		

質問紙調査①× 質問紙調査②-1 (プレ) × 質問紙調査②-2 (ポスト)

書くこと全般への抵抗感	今回のプレ	今回のポスト	人数	ワークシート or Jamboard等によって、よく書けたと思う (人数)	
ない	ある	従来型	あった	0	-
			なかった	2	14
		端末型	あった	12	0
			なかった	12	12
ある	ない	従来型	あった	0	-
			なかった	2	2
		端末型	あった	1	1
			なかった	8	7
ある	ある	従来型	あった	1	1
			なかった	4	3
		端末型	あった	0	-
			なかった	8	8
ある	ある	従来型	あった	4	1
			なかった	7	7
		端末型	あった	2	1
			なかった	1	2

全般的に書くことに抵抗感がある生徒が、ワークシートやJamboardなどのツールを利用して、「よく書けた」という体験をすれば、全般的な抵抗感は下がっていくか？
(今後の継続研究で検証)

学習プロセスや教師の関わり方など

41
Côte
d'Ivoire

Q1. What is fair trade?
Q2. What are the problems for the farmers in the country you chose?
Q3. What are the advantages of the chocolates made in the country you chose?

Qは英語だけ
ど、日本語で
のメモ。

品質にばらつきがある。メイン品種 フォラスデロ種味・香り マイルドで濃厚な味わい、ナッチィでバランスのとれた風味主にヨーロッパで好んで使用されているコートジボワールのカカオ。

渋味と苦味が強いのが特徴ですが、カカオ感もしっかりしていて、チョコレートのベースやブレンドに欠かせないベースビーンズとしての役割を担っています。

比較的ドッシリとした味わいが特徴で単体というよりは複数産地のカカオをブレンドする時に向いています。

フォラスデロ種の発祥地はアマゾン川上流域地域、ベネズエラのオリノコ川流域など。現在はガーナなどの西アフリカ、ブラジル、東南アジアなどで広く栽培されています。

また農園経営する家庭の子どもの3分の1は学校に行ったことがないそうです。児童労働の問題が少しでも解決するために、カカオ豆のフェアトレードへの取り組みに各企業や団体は動いていますが、

成長が早く、病気に強い。害虫への抵抗力が強い。収穫量が増えやすいため、世界のチョコレート生産量の約80%をフォラスデロ種が占めるとされています。

加藤里奈7:28 (50 分前)
To 自分マイルドで苦味は少なめ、ピーナッツのような香ばしさが特徴。ガーナ産カカオは、酸味と苦味、渋味のバランスのとれた親しみやすい風味が特徴。

なかなかフェアトレード市場は浸透していないのが現状です。

世界的に親しまれている味

かなりの数の農家が極度の貧困から脱却しました。調査対象の農家の世帯の61%が極度の貧困ラインを超えて生活していますが、前回の調査では42%でした(19パーセントポイントの増加)。

フォラスデロ種 病気に強く、生産性が高い。香りが強く、苦味と酸味が強い。成熟すると、ポッドの色は、赤または黄色になります。

日本語だから
たくさん書ける

Any pieces of information???

Bean to Barに近い概念を持つキーワードとして、産地産家が持続可能に継続できるように仲介者と公正な取引をするという意味の「フェアトレード(公正な取引)」があるが、Bean to Barでは良質なカカオ豆を求

<https://suit-chocolate.com/beanobar/>

Beanはカカオ豆、Barは板チョコのことで、Bean to Barとは、カカオ豆を仕入れて焙煎・粉砕するところから、板チョコレートになるまでの全ての製造工程を、一つの工房でおこなうことを意味します。

品質にばらつきがあるのは民営で管理されているのが原因

世界最大のカカオ豆輸出国だが、日本ではあ

Q1.貧困のない公正な社会をつくるために発展途上国で作られた農作物や製品を適正な価格で取引し、弱い立場に

ワークシートだと英語で書く

1) What is fair trade? What is "bean to bar?"

It is the trade between companies and producers in a fair way.

Producer: developing countries in which fair prices are paid to the producers.

限られたスペースなので沢山は書けない

Q1. What is fair trade?

Q2. What are the problems for the farmers in the country you chose?

Q3. What are the advantags of the chocolates made in the country you chose?

品質にばらつきがある。メイン品種 フォラスデロ種、香り マイルドで濃厚な味わい、ナッツィでバランスのとれた風味主にヨーロッパで好んで使用されているコートジボワールのカカオ。

渋味と苦味が強いのが特徴ですが、カカオ感もしっかりしていて、チョコレートのベースやブレンドに欠かせないベースビーンズとしての役割を担っています。

比較的ドッシリとした味わいが特徴で単体というよりは複数産地のカカオをブレンドする時に向いています。

フォラスデロ種の発祥地はアマゾン川上流域地帯、ベネズエラのオリノコ川流域など。現在はガーナなどの西アフリカ、ブラジル、東南アジアなどで広く栽培されています。

また農園経営する家庭の子どもの3分の1は、学校に行っていないそうです。児童労働の問題が少しでも解決するために、カカオ豆のフェアトレードへの取り組みに各企業や団体は動いていますが、

成長が早く、病気や害虫への抵抗力が強いため栽培しやすい品種で、世界のカカオ生産量の80~90%はこのフォラスデロ種が占めるとされています

加藤重康7:28 (50 分前)
To 自分マイルドで苦味は少なめ、ピーナッツのような香ばしさが特徴。ガーナ産カカオは、酸味と苦味、渋味のバランスのとれた親しみやすい風味が特徴。

なかなかフェアトレード市場は浸透していないのが現状です。

世界的に親しまれている味

かなりの数の農家が極度の貧困から脱却しました。調査対象の農家の世帯の61%が極度の貧困ラインを超えて生活していますが、前回の調査では42%でした(19パーセントポイントの増加)。

フォラスデロ種 病気に強く、生産性が高い。香りが弱く、苦味と酸味が強い。成熟すると、ポッドの色は、赤または黄色になります。

Any pieces of information???

Bean to Barに近い概念を持つキーワードとして、原産地農家が持続可能に継続できるように仲介者と公正な取引をするという意味の「フェアトレード (公正な取引)」があるが、Bean to Barでは良質なカカオ豆を求

<https://suit-chocolate.com/beantobar/>

Beanはカカオ豆、Barは板チョコのことで、Bean to Barとは、カカオ豆を仕入れて焙煎・粉砕するところから、板チョコレートになるまでの全ての製造工程を、一つの工房でおこなうことを意味します。

品質にばらつきがあるのは民営で管理されているのが原因

世界最大のカカオ豆輸出国だが、日本ではあまり輸入されていない

Q1.貧困のない公正な社会をつくるために発展途上国で作られた農作物や製品を適正な価格で取引し、弱い立場にある生産者の生活を支えるもの。

「対話的な学び」

①(日本語で)協力して活動に取り組む

②英語それ自体でのやり取り

どっち??

Q1. What is fair trade?

Q2. What are the problems for the farmers in the country you chose?

Q3. What are the advantages of the chocolates made in the country you chose?

Q1.貧困のない公正な社会をつくるために発展途上国で作られた農作物や製品を適正な価格で取引し、弱い立場にある生産者の生活を支えるもの。

Beanはカカオ豆、Barは板チョコのごとで、Bean to Barとは、カカオ豆を仕入れて焙煎・形砕するところから、板チョコレートになるまでの全ての製造工程を、一つの工房でおこなうことを意味します。

なかなかフェアトレード市場は浸透していないのが現状です。

Bean to Barと近い概念を持つキーワードとして、原産地農家が持続可能に継続できるように仲介者と公正な取引をするという意味の「フェアトレード（公正な取引）」があるが、Bean to Barでは良質なカカオ豆を求

1. fair trade, bean to barとは？

世界最大のカカオ豆輸出国だが、日本ではあまり輸入されていない

フォラステロ種 病気に強く、生産性が高い。香りが弱く、苦味と酸味が強い。成熟すると、ポッドの色は、赤または黄色になります。

世界的に親しまれている味

加藤屋原7.28 (50分前) To 自分マイルドで苦味は少なめ、ピーナツのような香ばしさが特徴。ガーナ産カカオは、酸味と苦味、渋味のバランスのとれた親しみやすい風味が特徴。

渋味と苦味が強いのが特徴ですが、力かオ感もしっかりしていて、チョコレートのベースやブレンドに欠かせないベースビーンズとしての役割を担っています。

成長が早く、病気や害虫への抵抗力が強いため栽培しやすい品種で、世界の力かオ生産量の80~90%はこのフォラステロ種が占めるとされています

品質にばらつきがある。メイソブランド フォラステロ種味・香り マイルドで濃厚な味わい、ナッティでバランスのとれた風味主にヨーロッパで好んで使用されているコートジボワールのカカオ。

比較的ドッシリとした味わいが特徴で単体というよりは複数産地の力かオをブレンドする時に向いています。

フォラステロ種の発祥地はアマゾン川上流域地域、ベネズエラのオリノコ川流域など。現在はガーナなどの西アフリカ、ブラジル、東南アジアなどで広く栽培されています。

2. コートジボワール産のメリット

<https://vult-chocolate.com/beanobar/>

品質にばらつきがあるのは民営で管理されているのが原因

かなりの数の農家が極度の貧困から脱却しました。調査対象の農家の世帯の67%が極度の貧困ラインを超えて生活していますが、前回の調査では42%でした(19パーセントポイントの増加)。

また農業経営する家庭の子どもの3分の1は、学校に行ったことがない子どもです。児童労働の削減が少しでも解決するため、カカオ豆のフェアトレードへの取り組みに各企業や団体は動いていますが、

3. 解決できる問題

広がったアイデアを整理 (先生の整理のモデル)

Q1. What is fair trade?

Q2. What are the problems for the farmers in the country you chose?

Q3. What are the advantages of the chocolates made in the country you chose?

↑これ、およそこの順番に書いていくといいですよ、という流れになっています。もちろん、違う展開もありでしょう、それを土曜日に話し合うので、今日がんばりましょう！

3. The merits of fair trade

Fair trade is about making, buying and selling goods in a way that is morally right. It is not only about a minimum wage, but is also about making sure that workers have good working conditions and that the environment has not been damaged by making the goods.

4. Shopping is politics

All of us must bear responsibility for our world's well-being as consumers. Many of the foods we eat daily are grown in developing countries, so Fairtrade products give people a chance to perform small acts every day to promote world development. Shopping can be a political action because you vote every time you spend your money.

こんな英文見つけました。わかりやすい！一部使えたらうまく取り入れてみよう。

コートジボワールが
取り上げられていま
した！！！！

<https://www.fairtrade.net/issue/gender-equality>

実際にchild laborに苦しんだ子供の言葉、後半部分、衝撃的です。値段がfairな方がいいですよ〜という単純な問題ではない。fair tradeが貢献する問題の深刻さの一端を表している。

In Cote d'Ivoire, which produces almost half the cocoa for the world's chocolate industry, it is said that more than 200,000 children are working in dangerous conditions on cocoa plantations. Many of them were exploited from Burkina Faso and Mali. Many of them are never paid. Beatings are common. Boys who tried to escape were sometimes killed. Drissa from Mali, who was enslaved as a teenager says, "I traveled over 400 km from home...I worked on a cocoa plantation in Cote d'Ivoire from dawn till dusk. I was weak from hunger. When I worked slowly, I was beaten. When I tried to run away, I was beaten harder."

英語で書くための支援を
先生が与えている

	端末型クラス (Jamboard・ドキュメント使用)	従来型クラス (紙のワークシート使用)
ツールの 特徴や印 象	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロセスの可視化・共有がしやすい (単語・フレーズレベルでしか言語化できないアイデアも載せやすい) ■ 色の影響もあり、視覚的に華やかな印象 	<ul style="list-style-type: none"> ■ しっかり英文を書くフォーマルな学習を行う ■ 手書きなので、生徒の人柄が見える気がする… (手書きも捨て難い・・・)
使用言語 とアウト プット傾 向	<ul style="list-style-type: none"> ■ (事前の指示がなかったため) 自然に日本語での共有になったため、多くのアイデアが出た結果、それを整理するための教師のサポートが必要になった 	<ul style="list-style-type: none"> ■ シートでは、活動の指示や質問などが英語で書かれているため、生徒も自然に英語で書いていた
協働学習 の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業外も含めて、常に共有が可能で、共有作業と個人作業が同時進行する ■ 生徒間でカジュアルな意見交換がしやすい (SNSの影響か) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 共有は授業内で教師が指定するタイミングで行う ■ シートを交換し合って、個別作業でコメントを書く
必要なス キル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な作業を一度に行うスキル (= multi-modal) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1つの作業を集中して行うスキル (= single-modal)
指導や教 師コント ロール	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学習状況に関する多様な情報をいつでも閲覧可能 (オンライン指導) ■ 机間指導と画面指導のバランスが必要 (教室にいるのに画面指導だけだと罪悪感がある…) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 机間指導には限界があるため、提出後に個別に確認 (オフライン指導) ■ 教室内での全体指導と机間指導のバランスが必要